

講義名	対2)NPO論			授業形態	
担当教員	森脇 丈子	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

特定非営利活動促進法が成立(1998年)して20年以上が経過し、非営利組織の存在は市民生活の多くの分野に浸透してきています。また、行政や企業との協働といった形もあちこちで見られるようになってきています。

非営利の組織は、学校や福祉、街づくりといった分野にとどまらず、環境や国際協力、文化、芸術の分野にも存在しています。これらの組織は民間企業や行政では取り組めない領域をカバーし、市民の多種多様なニーズに応えるサービスを創りだしてきており、注目されています。とりわけ、急速な高齢化と人口減少が進む日本社会では、社会における相互の共同がいままで以上に求められているともいえます。

この授業では、国内的もしくは国際的に活躍するNPOの具体的な活動をとりあげながら、NPOの役割と実際の成果、現状での課題と今後の発展可能性などについて、考えていきます。また、社会的企業についても紹介していきます。

また、毎回の講義の中で受講生と議論をおこないます(レスポンス活用)。

到達目標

1. 非営利組織にはさまざまな形があることを理解できる。
2. 非営利組織と企業との違いについて理解できる。
3. 非営利組織の運営(活動内容、資金、規模など)と現状での課題について理解できる。
4. 非営利組織の今後の発展可能性について考え、理解できる。

提出課題

受講登録者が多数(概ね80名超)の場合には、「小テスト」を実施します。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

授業開始時に、前回の提出済み「課題」に関するコメントをします。

評価の基準

1. 「授業中の発言・態度」…点数=30点(2点×15回)
2. 「課題」の欄に記入の通り、受講登録者が多数の場合には、小テストを実施する場合があります。この場合、点数配分が変わることがあります。授業中の説明をよく聞いて対応してください。感染予防に努めてください。マスクの未着用、マスクをきちんと着用していない人等には、退室してもらいます。
3. 定期試験…点数=70点
4. 「授業中の発言・態度」の30点と定期試験の70点の合計点で、評価をします。合計60点以上が、合格です。59点以下は、不合格です。

履修にあたっての注意・助言他

- ・新聞・ニュース・雑誌等で社会の出来事や消費者に関連する問題などについて、情報を日々収集しておいてください。
- ・第1回目の授業ガイダンスに必ず出席し、授業の進め方、課題の提出方法、評価基準をしっかりと理解したうえで、受講してください。
- ・授業では、かならずメモをとってください(IPAD等のスマホによる撮影は禁止します)。
- ・関連科目として、次の講義の受講を勧めます。「社会学入門」、「アミューズメント事業論」、「NPO論」、「消費文化論」、「生活福祉論」、「経営学入門」。
- ・コロナ感染状況によっては、オンライン形式の授業形態に変更する(シラバスの変更を含む)場合があります。大学からの連絡を常にチェックしておいてください。

教科書

・「使用しない」。

参考文献

.20代からはじめる社会貢献。	小暮真久	PHP新書	680	9784569794327
.ブルー・セクター 引き裂かれた世界をつなぐ起業家たちの物語。	ジャクリーン・ノヴォグラツ	英治出版	2200	9784862760616
.紛争地の看護師。	白川優子	小学館	1540	9784093897785

その他

教室で行う対面授業では、出席者に、プリント、新聞記事を適宜配布します。

参考文献
・池上彰『子ども貧困』2018年、水曜社
・池上彰『ルポ ひきこもり未帰郷 レールから外れた人たち』2018年、集英社新書
・大原悦子『フードバンクという挑戦 貧困と絶望の間で』2008年、岩波書店
・村上隆『新しい物産展を救え! 移動スーパーとくし丸の挑戦』、2014年、緑風出版
・国際的な食糧団日本編(2013)『緑は功徳、町にお役者さんがいてくれたら。』、合同出版
・池上彰編(2015)『日本の大課題 子ども貧困-社会的養護の現場から考える。』、ちくま新書
・岡村(2013)『生き心地の良い町』、講談社

授業計画

1. 授業ガイダンス: 授業の進め方、評価基準について
2. 授業: NPOとは
3. 給食活動のNPO: インド、食の支援: 欧州
4. IT
5. アフリカの植物資源と貧困
6. 児童労働
7. 環境なき産卵団
8. スポーツを通しての支援活動、地雷撤去
9. フェアトレード
10. フードバンク
11. 農業と地域
12. 社会的企業 利他主義とは何か
13. 日本のNPOの活動状況: マネジメント、資金・寄付・運営、企業や行政との「協働」
14. 投資家の新しい動き: ESG
15. 非営利組織の課題と今後の発展の可能性、定期試験について

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業終了時に、予習について説明します。次回の授業内容に関連する基礎的な語句や情報を調べる等の予習を、授業開始時までに済ませておいてください(作業時間: 2時間程度)。

その日の授業で扱った内容は、次の授業の理解の基盤になります。また、課題で合格点をとるために必要な知識となります。授業で使用したプリントを用いて、基礎的な内容の復習をしてください。また、配布した新聞記事などを利用して、具体的事例で授業内容をより深く理解できるように努め、ノートに要点をまとめておいてください。(作業時間: 2時間程度)。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。社会の問題や人びとの考え方を捉えることができる。社会貢献・産学連携、インターンシップなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身につけ、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創造することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

対面の授業中に多くの質問を出します。受講者は、自分の意見を述べてください。

実務経験の有無及び活用

備考

感染予防に努めてください。マスクの着用のない人、きちんとマスクを着用していない人等には、退室してもらいます。第1回目の授業に必ず出席し、授業方法、成績評価方法について、しっかりと理解してください。授業ではスマホをどって、理解を深めてください(スマホによるPPT等の撮影は禁止します)。

授業中の延滞や教習への勝手な出入りを禁止します。スマホは教員の指示がある場合に使用してください。授業態度の悪い人には、退室を求めることがあります。

新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性があります。大学からの連絡をしっかりとチェックしてください。